**診療実績調査　記載要領**

以下の記載例を参考に情報を記載してください。

1. 医療機関名

・開設者の名称について、自治体名や法人名などを省略せず正式名称で記載してください。

・医療機関名について、省略せず正式名称で記載してください。

1. 開設主体の区分

（国立）

開設主体が国、独立行政法人国立病院機構、国立大学法人、独立行政法人労働者健康安全機構、国立高度専門医療研究センター、独立行政法人地域医療機能推進機構に該当する場合にプルダウンにより「○」を選択してください。

（公立）

開設主体が都道府県、市町村、地方独立行政法人に該当する場合にプルダウンにより「○」を選択してください。

（公的）

開設主体が日赤、済生会、北海道社会事業協会、厚生連、国民健康保険団体連合会に該当する場合にプルダウンにより「○」を選択してください。

（社会保険関係）

開設主体が健康保険組合及びその連合会、共済組合及びその連合会、国民健康保険組合に該当する場合にプルダウンにより「○」を選択してください。

（その他）

開設主体が公益法人、学校法人、社会福祉法人、医療生協、会社、医療法人、社会医療法人など１～４に該当しない法人に該当する場合にプルダウンにより「○」を選択してください。

1. 所在都道府県

・入力不要

1. コロナ患者入院受入医療機関の類型

・該当する項目に○を選択してください。

1. 特定機能病院等**（重点医療機関のみ）**

・該当する項目に○を選択してください。

1. 新型コロナ**確保病床**の平均病床使用率**（重点医療機関のみ）**

・令和４年８月１日～８月31日における平均病床利用率（毎日の定点における入院患者数による延べ患者数を、**延べ確保病床数**で除する）を直接記入してください。

　※確保病床：道に提出している意向調査票における、陽性患者受入用の最大の稼働病床数（疑い患者用、休止病床数は含めません）。一般的にはフェーズ３での稼働病床数です。

1. 新型コロナ**確保病床**の平均病床使用率**（その他医療機関のみ）**

・令和４年８月１日～８月31日平均病床利用率（毎日の定点における入院患者数による延べ患者数を、**延べ確保病床数**で除する）を直接記入してください。

※確保病床：道に提出している意向調査票における、陽性患者受入用の最大の稼働病床数（疑い患者用、休止病床数は含めません）。一般的にはフェーズ３での稼働病床数です。

1. 新型コロナ**即応病床**の平均病床使用率**（重点医療機関のみ）**

・令和４年８月１日～８月31日までの期間における平均病床利用率（毎日の定点における入院患者数による延べ患者数を、**延べ即応病床数**で除する）を直接記入してください。

・患者数及び即応病床数は令和４年度（上期）実績報告書の保福第４７９号様式の８月を参考に

してください。

1. 新型コロナ**即応病床**の平均病床使用率**（その他医療機関のみ）**

・令和４年８月１日～８月31日までの期間における平均病床利用率（毎日の定点における入院患

者数による延べ患者数を、**延べ即応病床数**で除する）を直接記入してください。

・患者数及び即応病床数は令和４年度（上期）実績報告書の保福第４７９号様式の８月を参考に

してください。

1. ～　⑬

・⑥～⑨同様に12月分を作成してください。

1. 平成31年2月～令和２年１月の入院患者等の状況、令和２年４月～令和４年12月の延べ休止病床数及び休止病床に交付された病床確保料の総額

＜入院患者等の状況（コロナ病床**確保前**の状況）＞

* + 延べ入院患者数

平成31年２月１日～令和２年１月31日における医療機関全体の各区分における延べ入院患者数を直接記入してください。

* + 延べ稼働病床数

平成31年２月１日～令和２年１月31日における医療機関全体の各区分における延べ稼働病床数を直接記入してください。

* + １病床１日当たり診療収益（空床期間中も含む）

平成31年２月１日～令和２年１月31日における医療機関全体の各区分における診療報酬額（入院診療収益、室料差額収益、入院時食事療養費）の総額を医療機関全体の各区分における延べ病床数で除した１病床１日当たり診療収益を直接記入してください。

* + 平均病床使用率

延べ入院患者数/延べ稼働病床数

＜延べ休止病床数（コロナ病床**確保後**の状況）＞

・令和２年４月１日～令和３年12月31日の各区分における延べ休止病床数を直接記入してください。

・令和２年度の実績報告書の保福第４７９号様式の４月～12月を合算してください。

＜休止病床に交付された病床確保料の総額（円）＞

・令和２年４月１日～令和３年12月31日の各区分における延べ休止病床に交付された病床確保料の総額を直接記入してください。

・上記＜延べ休止病床数＞　×　休止病床単価で算定してください。

＜同期間に病床を休止する際に配置されていた看護師の休止期間中の延べ人数＞

・令和２年４月１日～令和３年12月31日における各区分の休止病床について、**休止する前に配置されていた看護師**の休止期間中の延べ人数を直接記入してください。

・例えば、ＩＣＵ病床10床を休止した際、休止前の看護師の配置数が15名（＝５名×３交代制）だった場合、当該病床を10日間休床したら15名×10日間＝150名が延べ人数となります。

・令和２年４月１日～令和３年12月31日を全て休止にした場合は275日間になります。

＜同期間に休止した病床からの再配置先ごとの看護師の休止期間中の延べ人数＞

・上記で記載した休止する前に配置されていた看護師の休止期間中の延べ人数のうち、休止期間中に**当該看護師を新しく再配置（継続含む）した**延べ人数を直接記入してください。

・上記の例でいえば、150名をどのように再配置したかを確認する項目となるので、**区分に非該当及び退職者がいない限り同数になります。**

* + - 令和４年１月～令和４年12月の入力方法も同様の考えになります。
		- ただし、交付決定が行われていない期間（令和４年10月～12月）は交付見込額（申請額）を記載してください。
1. 新型コロナ入院患者の診療実績および病床確保料の交付を受けた病床数

＜延べコロナ入院患者数（人）＞

令和４年８月１日～令和４年８月31日におけるコロナ入院患者数を直接記入してください。

＜病床確保料の交付があった延べ即応病床数（床）＞

・令和４年８月１日～令和４年８月31日における病床確保料の交付があった延べ即応病床

数を直接記入してください。

**・令和４年度（上期）実績報告書の保福第４７９号様式の８月（稼働病床）の合計を転記して**

**ください。**

＜病床確保料の交付があった延べ休止病床数（床）＞

・令和４年８月１日～令和４年８月31日における病床確保料の交付があった延べ休止病床数

を直接記入してください。

**・令和４年度（上期）実績報告書の保福第４７９号様式の８月（休止病床）の合計を転記して**

**ください。**

1. 令和４年12月１日～12月31日における新型コロナ入院患者の診療実績および病床確保料の交付を受けた病床数

・⑮と同様の考え方で12月分を作成してください。

1. ～ ㉔

・⑮、⑯の設問で延べ休止病床数を入力した医療機関のみ回答してください。

・該当する項目に○、理由を記載してください。